

## 豊春地区公民館・豊春第二公民館

### ◇運営の基本方針

生涯学習の理念に基づき、地域住民の課題や学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域の連帯意識を高め、明るい地域社会づくりを推進する。

### ◇重点施策

- 1 地域住民の課題や学習ニーズに応じた講座を開設し、学習機会の充実を図る。
- 2 家庭における教育力の向上を図るとともに子育て支援を推進する。
- 3 地域内の団体と連携し、地域住民の交流機会の充実・連帯感の向上を図る。

### ◇重点事業

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1 えんJOYトレーニング  | 2 豊春防災対策事業 |
| 3 いきいき学級       | 4 豊春公民館文化祭 |
| 5 小・中学生期家庭教育学級 | 6 豊春地区体育祭  |

#### 豊春地区公民館

所在地 〒344-0046 春日部市上蛭田101番地2

TEL 048-754-0942

FAX 048-754-0942

E-mail toyokou@city.kasukabe.lg.jp



#### 豊春第二公民館

所在地 〒344-0066 春日部市豊町5丁目14番地1

TEL 048-754-2100

FAX 048-754-2100

E-mail toyo2kou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長(兼務)	溝口通明
	主査(兼務)	芳池修
	主事(兼務)	石橋奈々子
	主事(兼務)	飯塚千菜津(社会教育主事)
	フルタイム(兼務)	野口浩之
	フルタイム(兼務)	和田泉
	フルタイム(兼務)	坂本きよみ

豊春地区 1

事業名 テーマ	高齢者向けスマホ教室		対象	一般		定員	各10人	
ねらい	スマートフォンの操作に不安のある高齢者を対象に、簡単な行政手続きができるようになることを目標として、操作の基礎を学習する機会を提供する。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ				SDGsの 目標No	4、11
会場	豊春地区公民館 研修室・講堂 豊春第二公民館 大集会室・ 第三会議室		教材 資料等	講師作成資料				
実施ま での経 過	前年度3月 講師打合せ 前年度3月 事業中止4月27日に延期 4月27日(水) 第1回実施(地区公民館) 5月13日(金) 第2回実施(地区公民館) 6月30日(木) 第3回実施(地区公民館) 7月26日(火) 第4回実施(地区公民館) 9月7日(水) 第5回実施(第二公民館) 9月21日(水) 第6回実施(第二公民館)		PR方法	公民館だより前年度2月号、4月号、6月号、7月号、8月号に掲載 チラシ、ポスター				
			受付方法	会場となる公民館に電話または 直接申込み 第3回以降は、公開抽選で参加者 を決定				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月27日(水)	10:00~15:00 (内3時間)	1日に3種類の講座を 開催した	講義	7	18	25	ドコモショップ 春日部ハクレン 通り店 スマホ講師	
5月13日(金)	10:00~15:00 (内3時間)	①「はじめての スマートフォン」	講義	9	21	30		
6月30日(木)	10:00~15:30 (内3時間)	②「スマートフォンで 災害に備えよう」	講義	12	17	29		
7月26日(火)	10:00~15:30 (内3時間)	③「スマートフォンで カメラを使おう」	講義	17	10	27		
9月7日(水)	10:00~15:30 (内3時間)	7/26のみ、「スマート フォンで災害に備えよ う」の代わりに、「ス マートフォンでマップ を使おう」を開催	講義	7	16	23		
9月21日(水)	10:00~15:30 (内3時間)		講義	8	21	29		
6回	18時間			60	103	163		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館に導入したWi-Fiを活用し、高齢者に向けた講座として企画した。</li> <li>・スマートフォンの操作について、不慣れな人から慣れている人まで多くの方が参加できるように、3種類の内容の講座を実施した。</li> <li>・初心者向けの講座では、スマートフォンを持っていない参加者に、貸出用のスマートフォンを用意した。</li> </ul>							
成 果 参加者 の声 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座後のアンケートでは、「初めての体験講座で勉強になりました」、「ただ持っているだけなので、これから一つずつ覚えていきたいと思います」などの声が寄せられ、高齢者のデジタル活用を支援することができた。</li> </ul>							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回までのスマホ教室は、申込み初日に定員に達してしまう人気の講座であったことから、第3回以降は、先着順ではなく抽選で参加者を決めるなど、混雑を回避する工夫をした。今後も申し込み状況に応じて、受付の方法を検討していきたい。</li> </ul>							

事業名 テーマ	みんなが集えるアート展		対象	一般	定員	—	
ねらい	公民館ロビーを絵画、書道、俳句などの作品展示に開放することで、利用者や地域住民が日頃の創作活動を発表できる場とし、美術、芸術を育む心を醸成する。また、利用団体が会員募集の情報を掲示することで公民館利用の拡充を目指す。						
協力機関 及び団体	公民館利用団体		特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 ロビー 豊春第二公民館 ロビー		教材 資料等				
実施までの経過	4月上旬 参加申込書を配布 5月28日(土) 参加受付終了 6月1日～4日 作品搬入 6月5日(日)～6月18日(土) 作品展開催 6月19日～22日 作品搬出		PR方法	公民館だより4月号に掲載 ポスター・チラシ			
			受付方法	出品者は、5月28日(土)までに、 参加申込書を展示を希望する公民館へ提出			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
6月5日(日) ～6月18日(土)		豊春地区公民館・豊春 第二公民館のロビーで 作品展を実施	展示	360 380	1150 780	1510 1160	出展者 豊春地区公民館 団体：4団体 個人：13人 豊春第二公民館 団体：1団体 個人：12人
1回	12日間			740	1930	2670	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、豊春地区公民館で開催している「藤のお花見会」の代替として、令和3年度に引き続き、ロビーを使用した作品展を開催した。</li> <li>・昨年度の「豊かな春の作品展」においては「春」や「藤」というテーマを設けたが、今年度はテーマを設けず幅広く作品を募集したことで、数多くの作品が集まり充実した内容の作品展となった。</li> <li>・作品の展示に併せて公民館利用団体の紹介を行うなど、より公民館活動に関心を持ってもらえるよう工夫した。</li> </ul>						
参加者の果 参 加 者 の 声 な ど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者のアンケートからは、「素晴らしい作品で目の保養になりました。今後、私も出品したいと思います」、「自分も参加したいと思うことばかりです」などの声が寄せられ、今後もアート展や公民館活動に興味を持ってもらうことができた。</li> <li>・そのほかにも、来場者からは、「毎年開催していただきたいと思います。皆様の目標になると思います」、「これからも身近もある宝物を掘り出して展示してください」などの声が寄せられ、活動成果を発表する場が求められていることが伺えた。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出品者からは、「作品数が少ない」、「サイズによってもっと出展数が多くても良いと思います」との意見もあり、広報の方法や1人あたりの展示数について改めて検討していきたい。</li> </ul>						




豊春地区 3

事業名 テーマ	いきいき学級	対象	一般	定員	①～③ :60人 ④:100人		
ねらい	地域住民のニーズにあった学習機会を提供することにより、これからの生活を安心・安全に過ごすための学習および、学習を有効に生かすための健康の維持・増進を図ることを目指す。						
協力機関 及び団体	1月22日の講座のみ、豊春支部社協と共催で開催	特色 位置づけ	健康マイレージ スタンプカード 対象事業	SDGsの 目標No	3、4、11		
会場	豊春地区公民館 講堂 豊春第二公民館 大集会室	教材 資料等	講師作成資料				
実施までの経過	4月 7日(水) 事業企画・講師折衝 6月22日(水) 豊春地区公民館 実施 6月23日(木) 豊春第二公民館 実施 7月 7日(木) 豊春地区公民館 実施 1月22日(日) 豊春地区公民館 実施	PR方法	公民館だより5、6、12月号に掲載 チラシ、ポスター				
		受付方法	豊春地区公民館または、豊春第二公民館に電話または直接申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
6月22日(水)	10:00～11:30	①「介護」と「お金」のお話し	講義	17	35	52	第3地域 包括支援センター
6月23日(木)	10:00～11:30	②「介護」と「お金」のお話し ※①②は同じ内容	講義	10	47	57	第3地域 包括支援センター
7月 7日(木)	10:00～11:30	③わたしと家族の 「そうぞく」講座	講義	13	24	37	明治安田生命 保険相互会社
1月22日(日)	10:00～11:30	④元気アップ体操・ ウォーキング講座	講義 実技	20	39	59	作業療法士 星崎 一志
							
4回	6時間			60	145	205	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③の講座は民間企業と連携し事業を開催した。</li> <li>・④の講座は社会福祉協議会豊春支部と連携し、豊春支部社協の会員研修会と合同の開催とした。</li> </ul>						
参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの講座の終了後に行ったアンケートでは、講座内容について学び、「ためになった」、「健康に気を付けていきたい」という感想が多く寄せられ、学習を通して、健康意識の向上を図るといふ本事業の目的を達成することができた。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回多くの参加申し込みがある関心の高い事業であることから、次年度以降も健康をテーマとした学習機会を提供できるように、講座を企画していきたい。</li> </ul>						



事業名 テーマ	豊春演芸のつどい		対象	豊春地区いきいきクラブ連合会会員・一般	定員	—	
ねらい	日頃の演芸活動の成果を発表・鑑賞する場を提供すると共に、地域住民の交流・親睦を深める機会とする。						
協力機関及び団体	豊春地区いきいきクラブ連合会		特色 位置づけ	豊春地区いきいきクラブ連合会との共催事業	SDGsの 目標No	3、4、11	
会場	豊春地区公民館 講堂(第59回) 豊春第二公民館 大集会室(第60回)		教材 資料等	プログラム			
実施までの経過	[地区] 5月 7日(土) 中止を決定 7月17日(日) 実施(中止)		P R 方法	公民館だより12、2月号に掲載			
	[第二] 1月19日(木) 拡大会議 2月19日(日) 実施		受付方法	豊春地区いきいきクラブ連合会会員の出演については、連合会で取りまとめ 会員以外については、先着順に5団体まで会場になる公民館窓口で受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
7月17日(日)	9:15~15:30	[第59回] 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	発表 観賞				
2月19日(日)	9:15~14:30	[第60回] (民謡・カラオケ・コーラスなど)	発表 観賞	65	85	150	
							
							
1回	5時間15分			65	85	150	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多く集まる事業であるため、発表時以外のマスクの徹底や、検温・消毒など、基本的な感染対策を徹底した。</li> <li>・プログラム編成や当日の運営等については、豊春地区いきいきクラブ連合会に委ね、可能な限り市民の自主的な運営による実施を目指した。</li> </ul>						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者からは、「このような発表の場が、活動の目標となっている」といった声が寄せられ、いきいきクラブ連合会と地域住民の活動を支援することができた。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容の企画・運営等を豊春地区いきいきクラブ連合会との共催事業として実施しており、今後も継続していきたい。</li> <li>・高齢者が多く集まる事業であることから、出演者や観客が安心して参加できるような感染症対策を講じる必要がある。</li> </ul>						

豊春地区 5

事業名 テーマ	遊学会 「親子で作ろう!工作用紙で恐竜づくり」		対象	小学生と保護者		定員	30組	
ねらい	与えられたものだけで遊ぶのではなく、身近なもので手作りする楽しさや、大切さを学ぶ機会として実施し、創造性を養う。							
協力機関 及び団体	春日部市生涯学習市民推進員		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 講堂		教材 資料等	恐竜作成の材料				
実施ま での経 過	5月11日(水) 講師打合せ 6月3日(金) 試作 7月9日(土) 申込受付開始 7月初旬頃 小学校にチラシの 配布依頼 7月31日(日) 実施		PR方法	公民館だより7月号に掲載 チラシ、ポスター 豊春地区内の小学校にてチラシ を配布				
			受付開始	7月9日(土)より豊春地区公民館 に電話または直接申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
7月31日(日)	10:00~11:30	工作用紙で恐竜を作成 する 恐竜の時代について説明	実習	12	14	26	講師： 生涯学習市民推進員 杉山 充男 講師補助：早坂 隆 津布久 常之	
								
1回	1時間30分			12	14	26		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のために事業の進め方を検討した。</li> <li>令和2年度に恐竜作りの事業を実施した際は、材料として段ボールを使用していたが、今年度の事業では材料を工作用紙へ変更し、小学校低学年でも作業がやりやすいように工夫した。</li> </ul>							
成 果 参加者 の声 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童用のアンケートでは「恐竜のことが知れて良かったです」、「とっても楽しかったです」などの感想が寄せられ、恐竜の時代についての知識を深め、身近なものでの工作をする楽しさを知ることにつながった。</li> </ul>							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年が対象のため、作業の速さに差が生じてしまうことから、最初に全工程を説明したり、早く終わった親子が楽しめる追加の工作用意したりするなど、それぞれの作業速度に合わせた指導方法を検討したい。</li> <li>参加した保護者用のアンケートでは「細かいところを切るのが、子どもには難しそうでしたけれど、手伝うことで協同作業として楽しく作ることができました」と回答があり、親子で取り組む事業を今後も継続していきたい。</li> </ul>							

事業名 テーマ	おもしろ科学教室 レモン電池でLEDをつけよう		対象	小学生3～6年生	定員	20人	
ねらい	小学生を対象に、手作りの大切さや科学のおもしろさを知るための機会として実施する。単に作成するだけにとどまらず、仕組みなどを知ることによって、長期的な学習を促す。						
協力機関 及び団体	蔵前理科教室ふしぎ不思議 わくわく科学クラブ		特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 講堂		教材 資料等	レジュメ レモン電池の材料			
実施ま での経 過	5月26日(木) 打合せ 7月上旬頃 小学校にチラシの 配布依頼		PR方法	公民館だより7月号に掲載 公民館内外ポスター掲示 豊春地区内の小学校にてチラシ を配布			
	7月9日(土) 申込受付開始 8月4日(木) 実施		受付開始	7月9日(土)より豊春地区公民館 に電話または直接申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
			計	計			
8月4日(木)	10:00～11:30	レモン電池の仕組み等について スライドで説明	講義 実習	9	18	27	蔵前理科教室 ふしぎ不思議 関谷 完夫 外3名 わくわく科学クラブ
1回	1時間30分			9	18	27	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のために事業の進め方や、指導方法を考えるため、講師との打合せを行った。</li> <li>・レモン電池の実験結果と、参加者が持参した野菜や果物の実験結果を比べることによって、科学の面白さを知ってもらう機会とした。</li> <li>・夏休みに開催することにより、自由研究の参考になるようにした。</li> </ul>						
成 果 参加者の 声 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童を対象としたアンケートでは、「分からなかったことを科学を使って自分で分かるようにできた」、「作り方などを説明してくれて分かることが増えました」などの感想が寄せられ、参加者の学習意欲を刺激し満たすことができた。</li> <li>・児童と一緒に参加した保護者からは、「1つ1つのレモンの大きさを変えたら電圧がどう変化するかや、野菜以外の物ならどうかなど興味が広がりました」との感想があり、保護者を含めて更なる学習を促すことができた。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した保護者からは、配布資料について改善を求める意見があったことから、次回以降、より分かりやすい資料となるよう工夫していく。</li> <li>・参加者全体から「また参加したい」との感想があったことから、科学についての学習機会を提供するために、来年度以降も継続して実施していきたい。</li> </ul>						





豊春地区 7

事業名 テーマ	P A (音響操作) セミナー		対象	中学生以上	定員	各30人	
ねらい	豊春第二公民館の大集会室で利用できる音響機器の操作方法を習得し、施設・設備の活用を図ると共に、音響機器操作の基礎から応用までを学ぶ機会を設け、音楽に対する興味・関心を深める。						
協力機関 及び団体	P Aサークル プラグド		特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春第二公民館 大集会室		教材 資料等	講師作成テキスト (入門編・応用編)			
実施までの 経過	前年度3月下旬 第1回打合せ 4月上旬 メールにて打合せ 5月下旬 メールにて打合せ 8月 6日(土) 入門編講座実施 8月13日(土) 応用編講座実施 8月14日(日) 応用編講座実施		P R 方法	公民館だより7月号、春日部市 Twitterに掲載 ポスター掲示・チラシの配布 (各公民館、グーカすかべ等)			
			受付方法	P Aサークル「プラグド」の中 村氏あてに電話で申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
8月 6日(土)	9:00~17:00	《入門講座》 音響操作の基本 《応用講座》(集中講座) 音響操作の基本~応用 デモライブ	講義 実習	5	3	8	P Aサークル プラグド 代表 中村 純子 外
8月13日(土)	10:00~18:00			4	3	7	
8月14日(日)	10:00~18:00			5	3	8	
3回	24時間			14	9	23	
企画運営上 の工夫	・コロナ禍の開催でもあり、開始前の検温、手指消毒、マスク着用、ビニール手袋等の感染拡大防止策を徹底し、講師と参加者が十分にコミュニケーションを図りながら実習ができるよう配慮した。						
成果 参加者の 声 など	・「セミナーを通して声がスピーカーへどのように伝わるか、音の性質について詳しく知ることが出来た」「演者以外のスタッフの動きを一部でも知ることが出来て大変勉強になった」などの声があった。						
課題と展望	・音響設備の有効活用や市民意識の向上を目指し、今後も継続的に実施をしていきたい。参加者からは満足の声がかかるものの、参加人数が定員の半分以下のため、PAという専門的分野の魅力が伝えられるよう広報などを通してP Rに力を入れる必要がある。						





事業名 テーマ	遊学会「やさしい！わかる！パソコン教室」 ～エクセルで家計簿を作ろう～		対象	一般		定員	10人	
ねらい	パソコン初心者を対象に、パソコンの基礎知識を学習する機会を提供し、デジタル活用の支援を目的とする。							
協力機関 及び団体	春日部市生涯学習市民推進員		特色 位置づけ	新規事業		SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 研修室		教材 資料等	講師作成資料				
実施ま での経 過	5月11日(水) 講師打合せ 6月 3日(金) 講師打合せ 8月13日(土) 申込受付開始 9月14日(水) 事業実施		PR方法	公民館だより8月号に掲載 チラシ、ポスター				
			受付開始	8月13日(土)より窓口、電話にて 先着順に受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
9月14日(水)	14:00～15:30	パソコン教室 エクセルを使用して家計 簿を作成	実習	2	8	10	講師： 生涯学習市民推進員 杉山 充男 講師補助： 生涯学習市民推進員 津布久 常之	
								
1回	1時間30分			2	8	10		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家計簿を作成する過程でエクセルの操作方法を習得し、普段の生活でもパソコンを有効活用する方法を学ぶ。</li> <li>・初心者向けの講座であるため、講師、サブ講師の他に職員も加わり4人で参加者をサポートしたことによって、操作が分からない参加者に丁寧に説明することができた。</li> </ul>							
成 果 参加者 の声 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者のアンケートでは「難しかったけど楽しくできました」、「分からないときは来てくださって親切に教えてくださり、できると嬉しくなっており、パソコンの難しい操作にもかかわらず、大変満足度の高い教室となった。</li> </ul>							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの参加者から継続して教室を開催してほしいと感想が寄せられたことから、参加者の学習意欲を沸き立たせ、高齢者のデジタル活用を支援することができた。</li> </ul>							

豊春地区 9

事業名 テーマ	第68回 豊春地区体育祭		対象	地区住民	定員	—	
ねらい	スポーツ・レクリエーションを通して地区住民の健康と体力の向上を図るとともに、相互の交流と親睦を深めて健全な地域の発展を図る。						
協力機関 及び団体	豊春小学校 豊春地区体育祭実行委員会	特色 位置づけ		SDGsの 目標No	3、4、11		
会場	豊春小学校 校庭	教材 資料等	プログラム、競技台本				
実施までの経過	4月20日(水)主催者会議 5月29日(日)春日部市民体育祭実行委員会にて中止と決定 6月18日(土)体育祭幹部会議 7月23日(土)体育祭本部役員会議 10月2日(日)豊春地区体育祭(中止) 12月17日(土)体育祭第1回検討会 1月21日(土)体育祭第2回検討会 2月18日(土)体育祭第3回検討会 3月11日(土)体育祭第4回検討会	PR方法	プログラム全戸配布(9月予定) 公民館ブログ(予定)				
		受付方法	地区対抗種目:各チームごとに取りまとめ、豊春地区公民館へ提出 自由参加種目:申込み不要				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	計	
10月2日(日)	8:45~15:00	豊春地区体育祭  新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	競技				
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫	・体育祭の中止が決まっていたが、体育振興会と各チーム代表の自治会長で「体育祭の在り方に関する検討会」を開催し、協議内容や運営役員について協議をした。						
成果参加者の声など	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止						
課題と展望	・今年度の大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、来年度以降については、「体育祭の在り方に関する検討会」内で協議した競技種目や開催方法等を踏まえて、地域に根差した体育祭の運営を目指す。						

事業名 テーマ	学社連携事業 「公民館の役割と公民館の事業体験」		対象	宮川小学校2年生 立野小学校3年生	定員	—	
ねらい	宮川小学校の2年生と立野小学校の3年生が、施設見学のため公民館を訪問し、公民館の役割や概要を学べる場とする。また豊春地区の生涯学習市民推進員に協力を依頼し、実際に公民館事業の体験をし、公民館を身近に感じてもらう場とする。						
協力機関 及び団体	春日部市生涯学習市民推進員		特色 位置づけ	宮川小学校からの 依頼を受け実施	SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春第二公民館 第三会議室 豊春地区公民館 研修室		教材 資料等	絵合わせパズルの材料等			
実施ま での経 過	8月中旬 小学校教員と打合せ 9月中旬 講師協力依頼 10月25日(火) 豊春第二公民館 立野小学校 施設見学 10月26日(水) 豊春地区公民館 宮川小学校 施設見学		PR方法				
			受付方法				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月25日(火)	11:00~12:00	公民館の概要等を説明 絵合わせパズルの作成	講義 実習	11	15	26	生涯学習市民推進員 杉山 充男 公民館職員
10月26日(水)	9:00~10:30	公民館の概要等を説明 絵合わせパズルの作成	講義 実習	19	13	32	生涯学習市民推進員 杉山 充男 公民館職員
				30	28	58	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学の中で、利用団体の活動の様子を見学することによって、公民館活動についてより具体的に学んでもらうことができた。</li> <li>公民館の概要説明では、小学2年生、3年生でも分かりやすい言葉を使って公民館の業務について説明するように心がけた。</li> <li>小学生に公民館の仕事内容をより身近に感じてもらうため、事業体験として簡単な工作講座を実施した。</li> </ul>						
参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館の事業体験として楽しい工作講座を受講したことにより、公民館に親しみを持ち、身近な存在になれたものとする。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館の役割について知ってもらうために、次年度以降は、当日の利用団体に予め協力を依頼し、活動の見学だけでなく交流を行うなど、事業内容のさらなる充実を図る。</li> </ul>						





事業名 テーマ	とよはる音楽祭		対象	一般	定員	150人	
ねらい	地域と公民館のさらなる発展・交流の拡大を、音楽を通じた手法により目指す。また、全国で演奏活動をしている団体の演奏を聞く機会を提供する場とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 講堂		教材 資料等				
実施までの 経過	8月中旬 9月下旬 10月上旬頃 10月22日(土) 12月4日(日)		出演者折衝 出演者依頼 出演調整 整理券配布 実施	PR方法	公民館だより10月号 ポスター、チラシ、プログラム		
				受付方法	10月22日(土)から、豊春地区公民館・豊春第二公民館の窓口で整理券を配付(計150枚)。		
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	合計	
12月4日(日)	14:00~15:15	音楽鑑賞 ヴァイオリン・ピアノの コンサート	鑑賞	29	86	115	出演者 El Cielo 2020 (森音楽事務所所属)
							
1回	1時間15分			29	86	115	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に演奏活動をしている音楽団体を招聘し、上質な音楽を提供できるようにした。</li> <li>・新型コロナウイルス対策のため定員数を削減し、事前に整理券を配布することで当日の受付時の混雑を防いだ。</li> </ul>						
成果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コロナがなかなか終息しない中、今日は素敵なピアノの演奏とバイオリンの音色を体を感じる事が出来とても安らいだ気持ちになり、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。ありがとうございました」など、演奏に感動しましたといった感想が多数寄せられ、充実した時間を過ごしていただくことができた。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策を取りながら事業を実施するために様々な対策を検討したため、来年度の事業を実施する際に、今年度検討した対策を活かしていきたい。</li> <li>・整理券が配布開始日に定員に達してしまう関心の高い事業であることから、来年度以降も継続して、文化芸術振興のため音楽鑑賞の機会提供していきたい。</li> </ul>						

事業名 テーマ	干支のつるし飾り		対象	一般		定員	15人	
ねらい	来年の干支のつるし飾りを作ることによって、新年を迎える準備の文化を継承していく。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春第二公民館 第一会議室		教材 資料等	つるし飾りの材料（講師用意）				
実施までの 経過	8月25日(木) 講師打合せ		P R 方法	公民館だより10月号に掲載				
	10月1日(土) 公民館だより配布		受付方法	11月9日(水)より、豊春第二公民館に参加費1,500円を添えて直接申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
12月9日(金)	13:00~16:00	干支のつるし飾りの作成	実習	0	13	13	講師 会田 真理子 講師助手 1名	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での開催になるため、講師、参加者共にマスク着用をお願いした。</li> <li>・また、感染対策の観点から、広い会場を確保し、教室形式にテーブルを並べ、1テーブルに1人着席とし3密にならない工夫をした。</li> <li>・伝統工芸にふれ、古き良き文化を伝承していく大切さを学んだ。</li> </ul>							
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な手工芸の基本を学びながら、自身だけのつるし飾りを完成させて作品を持って帰ることができる点が好評であった。干支の飾りを作ることで、新年を祝い未来への希望を感じさせてくれる事業となった。</li> <li>・終了後のアンケートでも、「可愛い干支が出来ました」などの声が寄せられ、大変満足度が高い事業であった。</li> </ul>							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、申込み初日に定員に達してしまう人気の講座であるため、今回は定員を増員しての開催となった。つるし飾りの講座に興味がある人が多く今後も継続したい事業である。</li> </ul>							



事業名 テーマ	豊春防災対策事業 豊町自治会 豊春第二公民館 合同防災訓練		対象	一般	定員	50人	
ねらい	避難場所である公民館と地区内の防災組織が連携し、より実践的な防災訓練を行うことにより、地域の防災力を高めることを目指す。						
協力機関 及び団体	共催：豊町自治会（自主防災会） 協力：防災対策課		特色 位置づけ	公民館モデル 事業	SDGsの 目標No	4、11、 13	
会場	豊町第4公園（豊春第二公民館裏）		教材 資料等				
実施ま での 経過	11月上旬 自治会打合せ 12月10日（土） 防災資材準備 12月11日（日） 実施		P R 方法				
			受付開始	参加者は事前に豊町自治会で取りまとめる			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
12月11日（日）	10:00～12:00	地震体験車 地震体験 消火訓練 救命救急訓練 避難所開設について	実習 実習 実習 講習	30	20	50	防災対策課職員
							
1回	2時間			30	20	50	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館に備えてある組み立て式の間仕切りや、簡易ベッドといった避難所開設時の物資を使用して避難所運営について説明した。</li> <li>・豊町自治会と連携して救命救急訓練や消火器訓練など、実践的な防災訓練を実施した。</li> </ul>						
成 果 参加者 の声 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が訓練に参加することによって、災害時に地域住民の協力のもと、スムーズに避難所を運営できるようになった。</li> <li>・公民館が避難所となっていることを改めて周知し、防災訓練をとおして地域住民の防災意識を高めた。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も自治会や自主防災会との連携を深め、自治会と公民館が連携した防災事業を継続的に実施する必要がある。</li> <li>・避難所に指定されている公民館として、地域の自治会と共同して防災力を高めるための勉強会や訓練を、次年度以降も継続して開催していきたい。</li> </ul>						



事業名 テーマ	小・中学生期家庭教育学級		対象	豊春地区内小中学校PTA会員		定員	100人			
ねらい	小・中学生の子どもを持つ親の在り方、生き方、子の育て方を学ぶ場とする。家庭を取り巻く現状の把握と、その解決法を学び、参加者の自発性を高めることを目指す。									
協力機関 及び団体	豊春・立野・宮川小学校、 豊春・大增中学校 各PTA		特色 位置づけ	豊春地区内小中学校PTAと共催		SDGsの 目標No	4、11			
会場	豊春地区公民館 講堂		教材 資料等	講師作成資料						
実施ま での経 過	4月中旬頃 講師折衝 7月6日(水) 第1回企画委員会 9月9日(金) 第2回企画委員会 12月15日(木) 実施 1月16日(月) } 講演動画配信 ~2月15日(水)}		PR方法	各PTAより会員へ通知						
			受付方法	PTA役員から、児童生徒を通じて参加申込書を配布し各学校ごとにとりまとめて豊春地区公民館へ提出						
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名			
回数	総時間数			男 計	女 計	合計				
12月15日(木)	14:00~15:30	「こどもたちはゲームや ネットの世界でなにを しているんだろう？」	講演	7	39	46	医療法人仁誠会 大湫病院 児童精神科医 関 正樹 (講師依頼元: 公益財団法人 明治安田こころの 健康財団)			
										
1回	1時間30分			7	39	46				
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業当日に参加できない保護者のために、講演の動画を期間を限定して公開することによって、より多くの保護者に学習の機会を提供した。</li> <li>・未就学児と保護者が一緒に講演を聞けるようにするため、会場内後方にキッズスペースを設け、会場外におむつ替えや授乳スペースとして部屋を用意した。</li> </ul>									
成 果 参加者 の声 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した保護者からは、「先生の話聞き、不安が少なくなり、また、見直さなければいけない点も分かり、とても良かったです。具体的な方法もお話し頂き、実践していきたいです「スマホやゲームのやりすぎをただ叱るだけでなく、子どもが夢中になる理由を理解し、子どもがうまくコントロールしながらゲームを楽しめるよう、親子のコミュニケーションを大切にしていきたいです」、といった感想が寄せられ、保護者の自発的な学びを支援することができた。</li> </ul>									
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回講師の都合で、午後からの開催となったが、児童の下校時間と重なるため、午前中の開催を希望する声が多かった。次年度以降は、開催時間やオンラインでの開催など、より多くの保護者が参加できる機会を設けるため、従来と異なる開催方法も検討する必要がある。</li> </ul>									


事業名 テーマ	第33回 豊春地区公民館文化祭		対象	公民館利用団体 ・一般		定員	—	
ねらい	公民館利用団体が日頃の活動成果を発表し、新たな創作活動への意欲を育むとともに、市民同士が交流を図ることで、公民館活動の拡大を目指す。							
協力機関 及び団体	豊春地区公民館文化祭実行委員会		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館		教材 資料等	プログラム 各種イベントごとにレジュメ等				
実施までの 経過	8月 4日(木) 事前打合せ会議(中止) 10月 5日(水) 第1回実行委員会 11月10日(木) 第2回実行委員会 1月15日(日) 文化祭 実施 1月15日(日) } 文化祭作品展開催 ~1月29日(日)]		PR方法	公民館だより12月号に掲載 プログラム、ポスターチラシ				
			受付方法	サークルは当日受付 開催当日の観覧、参加は自由				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月15日(日)	9:30~13:30	舞台・展示・体験・販売に 分かれて活動成果を発表	発表	30	170	200	公民館利用団体 ステージ4団体 展示 7団体 体験 3団体 販売 1団体	
1月15日(日) ~1月29日(日)		文化祭作品展	展示					
							<協力団体> わかば春日部 第3地域 包括支援センター	
1回	12日4時間			30	170	200		
企画運営上 の工夫	・文化祭の作品展示期間を2日間から2週間に変更したことによって、令和元年度の文化祭よりも多くの展示団体が文化祭に参加し、俳句や絵画、書道、写真といった様々な作品を展示することができた。 ・コロナ禍の影響により、児童・生徒の成果発表の機会が減っていることから、豊春地区の小・中学校3校の作品展示や、豊春小学校金管バンドのステージ演奏などの活動成果を、文化祭という場を機会にして、保護者や地域住民に披露した。							
成 果 参加者の 声 など	・文化祭後のアンケートでは「久しぶりの文化祭開催、やはり地域の交流ができ、雰囲気も良く必要なイベントだと思いました」、「来年も子どもと一緒に、豊春地区でどんなことをやっているのか見れる場でもあるので、来てみようと思います」などの声が寄せられ、文化祭を利用団体と地域住民の交流の場とすることができた。							
課題と展望	・今年度の文化祭は、夏頃の感染拡大を受けて、当初予定していた会議が中止となったことから、開催時期を冬に延期し規模を縮小して開催することとなったが、来年度は公民館利用団体の活動成果の発表の場として、文化祭をより充実した事業として企画していく。							



事業名 テーマ	第25回 豊春第二公民館文化祭		対象	公民館利用団体 ・一般	定員	—	
ねらい	公民館利用団体が日頃の活動成果を発表し、新たな創作活動への意欲を育むとともに、市民同士が交流を図ることで、公民館活動の拡大を目指す。						
協力機関 及び団体	豊春第二公民館文化祭実行委員会	特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4、11		
会場	豊春第二公民館	教材 資料等	プログラム 各種イベントごとにレジュメ等				
実施までの 経過	7月30日(土) 事前打合せ会議(中止)	PR方法	公民館だより12月号に掲載 プログラム、ポスターチラシ				
	10月20日(木) 第1回実行委員会 11月12日(土) 第2回実行委員会 1月15日(日) }文化祭作品展開催 ~1月29日(日) 1月29日(日) 文化祭 実施						
		受付方法	サークルは当日受付 開催当日の観覧、参加は自由				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月29日(日)	10:00~15:00	舞台・展示・体験・販売に 分かれて活動成果を発表 社交ダンスパーティー	発表	45	305	350	公民館利用団体 ステージ 11団体 展示 3団体 体験 2団体 販売 1団体
1月15日(日) ~1月29日(日)	16:00~18:00						
		文化祭作品展	展示				
			<協力団体> わかば春日部 第3地域 包括支援センター				
1回	12日7時間			45	305	350	
企画運営上の工夫	・文化祭の作品展示期間を2日間から2週間に変更したことによって、令和元年度の文化祭よりも多く来場者に作品を見てもらうことができた。 ・立野小学校の作品の展示を併せて行ったことにより、コロナ禍の影響によって機会が減っていた、児童の成果発表の場となった。						
成果参加者の声など	・文化祭後のアンケートでは「しばらくぶりに再開して頂きありがとうございました」、「活気があって楽しかったです」などの声が寄せられ、コロナ禍で規模を縮小したが、活動成果を地域住民に発表するよい機会となった。						
課題と展望	・文化祭参加者のアンケートでは、「一般の方に来てほしい。そして色々な会に入会してほしい」などの声が寄せられ、次年度以降は、会員募集をしている文化祭参加団体の情報を、文化祭プログラムに掲載するなどして、文化祭を通して、団体活動を支援できる方法を模索していく。						



事業名 テーマ	公民館利用者のつどい		対象	公民館利用団体、一般	定員	-	
ねらい	公民館利用団体と公民館の連絡及び利用者相互の交流の場とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	人権問題研修会 と併せて実施	SDGsの 目標No	4、11		
会場	豊春地区公民館 講堂 豊春第二公民館 大集会室	教材 資料等	公民館作成資料				
実施までの経過	12月15日(木)公民館・テニス利用団体 通知文書配布	P R 方法	公民館利用団体あて通知を配布する				
	1月13日(金)テニスコート 利用者のつどい 1月25日(水)豊春地区公民館つどい 1月26日(木)豊春第二公民館つどい	受付方法	会場入口で受け付ける				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
1月13日(金)	9:00~10:00	<テニス利用団体> ・テニスコートの 利用等について	会議	7	2	9	
1月25日(水)	9:30~11:30	<豊春地区公民館> ・公民館の利用等について	会議	6	22	28	
1月26日(木)	14:00~16:00	<豊春第二公民館> ・公民館の利用等について	会議	3	17	20	
3回		5時間		16	41	57	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館利用者に対して、新型コロナウイルス感染防止ガイドラインに基づく利用方法等について、現時点での公民館の取組を説明した。</li> <li>・利用者の防災意識の向上と有事の際の円滑な避難を目指すため、避難・消火訓練もあわせて実施した。</li> </ul>						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区公民館の質疑応答では、使用料に関する質疑が出たが、公民館の利用方法について、引き続き説明をしていく。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、コロナ禍後の使用料の支払い方法が変更になることから、施設の予約の取り方について、会議の中で参加した団体に丁寧に説明していく。また、会議に参加できなかった団体に対する説明についても検討していく必要がある。</li> </ul>						



事業名 テーマ	人権問題研修会		対象	一般		定員	-	
ねらい	豊かな人間関係づくりを目指し、偏見や差別等の人権問題について認識を深めるとともに、人権問題の早期解決に向けた人権意識の高揚を図り、明るいまちづくりを推進していく。							
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	利用者のつどいと同時開催		SDGsの 目標No	4、10、 11		
会場	豊春地区公民館 講堂 豊春第二公民館 大集会室		教材 資料等	人権啓発DVD「知りたいあなたのこと」				
実施ま での経 過	12月15日(木)公民館利用団体 通知文書配布		PR方法	公民館利用者団体あて通知を配布する				
	1月25日(水)豊春地区公民館つどい 1月26日(木)豊春第二公民館つどい		受付方法	会場入口で受け取る				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月25日(水)	9:35~10:00	<豊春地区公民館> 趣旨説明、DVDの上映	観賞	6	22	28		
1月26日(木)	14:05~14:30	<豊春第二公民館> 趣旨説明、DVDの上映	観賞	3	17	20		
								
2回	50分			9	39	48		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人に参加してもらうため、「利用者のつどい」の一環として実施した。</li> <li>・外見からはわからない障がい・病気等で日常生活を送っている人など、身近に起きている人権の問題を分かりやすく感じてもらうために、人権啓発用DVDの上映を行った。</li> </ul>							
成 果 参 加 者 声 な の ど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者からは、「見えないところで大変な思いをしている人もたくさんいる事を改めて自覚し、そのような人を見守り、気付いたら手助けができるような心構えでいたいと思いました」など、研修をきっかけにして人権問題についての関心を深めることができた。</li> </ul>							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代においても、未だ解決に至っていない人権問題について、参加者それぞれが再考する機会として、今後も継続が必要な事業である。</li> </ul>							

事業名 テーマ	小学生料理教室 「楽しく！サンドウィッチを作ろう」		対象	小学生3～6年生	定員	16人	
ねらい	子ども達が簡単に自宅でも作れる料理を学ぶ教室とする。また、共同作業により手作りの良さと楽しさを体験する。季節に合わせた料理を作ることにより、創造性を養う。						
協力機関 及び団体	春日部市食生活改善推進員協議会		特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春第二公民館 調理室		教材 資料等	レシピ、お料理をしましょう			
実施ま での経 過	10月13日(木) 打合わせ(日程確認) 10月23日(日) 詳細打合わせ 12月21日(水) レシピ(案)の作成 2月12日(日) 申込受付開始 3月11日(土) 事業実施		PR方法	公民館だより2月号掲載			
			受付方法	豊春第二公民館に参加費500円を添えて直接申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	合計	
3月11日(土)	10:00～13:00	<メニュー> 玉子・ハムサンド フルーツサンド オレンジジュースの ヨーグルトドリンク	実習	2	12	14	春日部市食生活 改善推進員 4名 杉本富美子 木村久美子 木村君江 喜内道恵
							
1回	3時間			2	12	14	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での開催にあたり、感染対策を十分に図ることから、調理台及び食生活改善推進員の指導体制を考慮した上で、最大限の参加人数を決定した。</li> <li>・4班体制で、1班に1人の推進員が指導することで充実した実習ができた。</li> <li>・参加する子ども達の食物アレルギーに配慮したメニューを作成するため、申込み受付時に食物アレルギー事前確認票を提出していただいた。</li> </ul>						
成 果 参加者 の声 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員の指導により、料理の基本と食の大切さを学ぶことが出来た。</li> <li>・アンケートでは、「難しそうと思っていたが思ったより簡単に作れた。家でも作ってみたい。」「おいしかった。」「楽しかった。」との声が多く、食に対する関心度の高いことが窺われる。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染の影響なのか、参加者が定員に満たなかったため、開催時期や内容、周知方法を再度検討する必要もある。</li> <li>・参加者の全員が家で料理を作った経験があり、料理に対する関心が高いため食育の観点からも継続していきたい事業である。</li> </ul>						




事業名 テーマ	お楽しみウォーキング		対象	豊春地区在住者 (小学3年生以下 は保護者同伴)	定員	30人	
ねらい	地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深めて、健全な地域の発展を図る。						
協力機関 及び団体	豊春地区お楽しみウォーキング 実行委員会		特色 位置づけ	健康マイレージ スタンプカード 対象事業	SDGsの 目標No	3、4、11	
会場	豊春地区公民館 講堂		教材 資料等	歴史解説者作成資料 順路地図			
実施ま での経過	12月17日(土) } 体育振興会 2月 3日(金) } 正副会長会議 1月21日(土) } コース試歩 2月中旬頃 } 各種依頼 3月26日(日) } 館内で体操を実施 ウォーキング(中止)		PR方法	公民館だより2月号に掲載			
			受付方法	豊春地区公民館に電話または直接申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
3月26日(日)	9:00~11:00	歴史解説 健康体操 ウォーキングは 雨天のため中止	講習 実技	3	8	11	小林 永三郎 田中 道子
							
1回	2時間			3	8	11	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からウォーキングをしている委員の意見を踏まえ、コース選定等をしてもらい、交通量の少ない道や風景のきれいな場所等に留意し、安全で楽しいコースを探し出した。</li> <li>・地域住民の健康づくりやコミュニティ形成の場として、気軽に参加することができるよう、広報の段階から参加しやすい雰囲気作りに努めた。</li> </ul>						
成 果 参加者 の声 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は雨天のため、予定をしていたウォーキングは中止し、館内で見学予定だった春日部八幡神社の歴史解説や、椅子に座ったままできる健康体操を行った。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は雨天のため、ウォーキングはできず代替として体操を行ったが、来年度の当事業については、安全や景観を考慮した目的地へのコース選定について検討を図る。</li> </ul>						



豊春地区 21

事業名 テーマ	親子の広場	対象	乳幼児・保護者	定員	地区 10組 第二 10組		
ねらい	子育て中の保護者が、子どもを遊ばせながら育児の不安や悩みなどを情報交換するとともに、子ども同士の遊びの中から社会性を養う場とする。						
協力機関 及び団体	豊春地区更正保護女性会	特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4、11		
会場	豊春地区公民館 研修室(12月は講堂) 豊春第二公民館 和室	教材 資料等	遊具、おもちゃ、絵本等				
実施までの経過	毎月第3木曜日 豊春地区公民館で実施 毎月第2水曜日 豊春第二公民館で実施	PR方法	広報かすかべ、公民館だより各号に掲載				
		受付方法	会場となる公民館に電話または直接申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月21日(木) 5月19日(木) 6月16日(木) 7月21日(木) 8月18日(木) 9月15日(木) 10月20日(木) 11月17日(木) 12月15日(木) 1月19日(木) 2月16日(木) 3月16日(木)	10:00~11:30	<p>〈豊春地区公民館〉 保護者の情報交換と、 子どもの社会性を、遊 びから養う。</p> 	体験	3 3 4 9 13 4 6 1 13 4 9 13	15 8 15 13 19 7 16 3 27 8 11 18	18 11 19 22 32 11 22 4 40 12 20 31	豊春西地区 更正保護女性会
小計12回	18時間			82	160	242	
4月13日(水) 5月11日(水) 6月 8日(水) 7月13日(水) 8月10日(水) 9月14日(水) 10月12日(水) 11月 9日(水) 12月14日(水) 1月11日(水) 2月 8日(水) 3月 8日(水)	10:00~11:30	<p>〈豊春第二公民館〉 保護者の情報交換と、 子どもの社会性を、遊 びから養う。</p> 	体験	2 4 2 2 2 1 7 7 7 5 6 6	8 8 3 9 6 3 9 18 14 17 18 23	10 12 5 11 8 4 16 25 21 22 24 29	豊春東地区 更正保護女性会
小計12回	18時間			51	136	187	
24回	36時間			133	296	429	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染防止策として定員数を決め事前申込み制とした。</li> <li>・コロナ禍においても、小さな子どもを持つ親子の交流の場を作った。</li> <li>・豊春地区公民館では、12月の親子の広場は、定員を超える申込みが予想されたため、より大きい部屋へ会場を変更し、親子で楽しめるミニコンサートを開催した。</li> </ul>						
参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の広場をとおして、参加者同士の交流や、参加者と更生保護女性会さんの交流が生まれた。</li> <li>・今年度は、全日程の開催ができたことから多くの参加があり、コロナ禍の影響を受ける中でも必要性が高い事業であることが伺えた。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更生保護女性会や参加者の声を取り入れ、より充実した事業となるよう計画していく。</li> </ul>						

事業名 テーマ	えほんの広場		対象	乳幼児・保護者	定員	-	
ねらい	絵本の読み聞かせを通して、子どもに絵本の楽しさを伝え、保護者には読み聞かせの仕方や大切さを伝えることにより、子どもが読書の習慣を身につけ、豊かな情操を育むことを目指す。						
協力機関 及び団体	地域文庫	特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 和室		教材 資料等	絵本等			
実施までの 経過	前年度2月中旬 来年度の打合せ 毎月第2木曜日 実施		PR方法	公民館だより各号に掲載、公民館ブログ			
			受付方法	豊春地区公民館に電話または直接申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	計	
4月 8日(木)	10:30~11:30	絵本の読み聞かせ等を通して、ことばの楽しさを伝える。	鑑賞 体験	4	8	12	地域文庫
5月13日(木)				0	0	0	
6月10日(木)				1	8	9	
7月 8日(木)				0	3	3	
8月12日(木)				1	1	2	
9月 9日(木)				1	7	8	
10月14日(木)				2	4	6	
11月11日(木)				1	5	6	
12月 9日(木)				1	3	4	
1月13日(木)				0	0	0	
2月10日(木)				2	2	4	
3月10日(木)				1	1	2	
12回				12時間			
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染防止策として定員数を決め事前申込み制を継続した。</li> <li>・読み聞かせに加えて、手遊びや体を使った遊び、お手玉などの昔遊びを取り入れた。</li> </ul>						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせだけでなく、年齢に合わせた絵本を保護者に紹介し、読み聞かせ活動の支援ができた。</li> </ul>						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が0人の回もあったことから、保護者のに向けて、事業の周知に力を入れていきたい。</li> <li>・次年度は予約方法の見直しなどの運営面について検討し、絵本の読み聞かせを通じた教育の推進を図っていきたい。</li> </ul>						




事業名 テーマ	えんJOYトレーニング (豊春第二公民館えんトレの会)		対象	一般		定員	20人				
ねらい	「いつまでも元気」を目指して地域の中で行う介護予防体操のえんJOYトレーニングを、市民の自主的なトレーニング活動として運営協力者であるサポーターの養成を含めて行い、地域住民の健康増進を図る。										
協力機関 及び団体	第3地域包括支援センター 介護保険課地域支援担当		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	3、4、11				
会場	豊春第二公民館 大集会室		教材 資料等	講師作成資料							
実施ま での 経過	毎週金曜日 豊春第二公民館で実施		PR方法								
			受付方法								
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名				
回数	総時間数			男	女	合計					
				計	計						
4/1、4/8、4/15	毎週金曜日 14:00~15:30	えんJOYトレーニング 	実技	0	41	41	第3地域 包括支援センター 介護保険課 地域支援担当				
4/22、											
5/6、5/13											
5/20、5/27											
6/3、6/10											
6/17、6/24											
7/1、7/8、7/15											
7/22、7/29											
8/5、8/19、8/26											
9/2、9/9、9/16、9/30											
10/7、10/14											
10/21、10/28、											
11/4、11/11											
11/18、11/25											
12/2、12/9											
12/16、12/23											
1/13、1/20、1/27											
2/3、2/17、2/24											
3/3、3/10											
3/17、3/24											
3/31、											
47回				70時間30分				0	684	684	
企画運営上 の工夫				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回コロナ感染対策の徹底を図りながら実施した。(手指消毒の徹底、血圧測定、参加者同士の距離の確保、参加者同士の会話等は控え、体操終了後は使用した椅子の消毒など)</li> <li>・参加者が1年を通して継続できるようサポーターとの連絡や相談を密にして、安心して実施できる体制づくりに努めた。</li> </ul>							
成果の 参加者 声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍であったが、1年を通して実施できたことで、減少していた参加者数も増加傾向にある。サポーターのリードにより参加者同士の仲間意識が向上し、積極的に自主活動として取り組んでいる姿が見受けられる。サポーターも5人から8人に増やすことが出来た。</li> </ul>										
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防や高齢者の健康維持の観点からも、市民の自主的活動であるえんJOYトレーニングは大きな成果があるので今後も継続していきたい事業である。</li> </ul>										

事業名 テーマ	オレンジカフェ		対象	一般		定員	地区 20人 第二 12人	
ねらい	認知症の方やその家族、また地域住民や専門職が気軽につどい交流できる場として開催する。参加すること自体が閉じこもり予防につながり、また、同じ悩みを持つ者同士が一堂に会することにより安心感を得ることができ、地域の活力増進へとつなげる。							
協力機関 及び団体	第3地域包括支援センター		特色 位置づけ	第3地域包括支援センターと共催		SDGsの 目標No	3、4、11	
会場	豊春地区公民館 研修室 豊春第二公民館 調理室		教材 資料等					
実施までの 経過	前年度3月 講師打合せ 毎月第1金曜日 豊春地区公民館で開催 毎月第3水曜日 豊春第二公民館で開催		PR方法	公民館だより各号に掲載				
			受付方法	第3地域包括支援センターへ申込み				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
4月13日(水) 5月11日(水) 6月8日(水) 7月13日(水) 8月10日(水) 9月14日(水) 10月12日(水) 11月9日(水) 12月14日(水) 1月11日(水) 2月8日(水) 3月8日(水)	実施 10:00~11:00  中止  実施 10:00~11:00	<p>〈豊春地区公民館〉 健康について学習や脳トレ、介護相談を受付ける 8月は講師の都合により中止</p> 	会議	1 2 3 2  2 3 3 6 2 1 2	2 6 6 3 4 2 5 14 8 4 3	3 8 9 5  6 5 8 20 10 5 5	第3地域 包括支援センター	
小計11回	11時間			27	57	84		
4月20日(水) 5月18日(水) 6月15日(水) 7月20日(水) 8月17日(水) 9月15日(水) 10月20日(水) 11月17日(水) 12月15日(水) 1月19日(水) 2月16日(水) 3月16日(水)	実施 10:00~11:00  中止  実施 10:00~11:00	<p>〈豊春第二公民館〉 健康について学習や脳トレ、介護相談を受付ける 8月は講師の都合により中止</p> 	会議	0 1 1 0  0 4 2 1 1 1 1	7 6 8 6  5 4 5 11 8 11 6	7 7 9 6  5 8 7 12 9 12 7	第3地域 包括支援センター	
小計11回	11時間			12	77	89		
22回	22時間			39	134	173		
企画運営上の工夫	・オレンジカフェの内容を、話し合いだけでなく、笑いヨガや歌いながら体を動かす脳トレを取り入れるなど、介護予防の内容を充実させた。							
成果 参加者の 声など	・コロナ禍による自粛により外出機会が減る中でも、行く場所、話し相手があると認識してもらい、人と関わる機会が減少する中でも、地域の方が気軽に参加できる場が必要だと思われる。							
課題と展望	・認知症の人を介護している家族の負担の軽減を図り、地域の高齢者に交流の機会を設けるため、今後も継続して実施していく。							

事業名 テーマ	サークル体験		対象	一般		定員	-	
ねらい	サークル会員の高齢化などの影響もあり、会員の減少やサークルの解散などが増えており、対応が必要になっている。また、公民館でのサークル活動に興味はあるが、一歩踏み出せない方への手助けとなるよう、体験会を実施し、さらなる公民館活動の発展を目指す。							
協力機関 及び団体	公民館利用団体		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 豊春第二公民館		教材 資料等					
実施までの 経過	7月 1日(金) 申込書配布開始(予定) 8月27日(土) 申込書受付期限(予定) 10月 1日(土) 公民館だより 10月号に掲載(予定)		PR方法	公民館だより10月号に掲載、館内掲示等で周知(予定)				
	11月 1日(火) } 実施期間(中止) ~11月30日(水) ]		受付方法	事前申し込みが必要なサークルを除き、当日自由参加				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
11月1日(火) ~11月30日(水)		普段のサークルの様子を見学・体験する。  新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	体験				参加サークル	
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上の工夫	・今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、サークル体験は中止し、公民館活動を紹介する「サークル紹介ポスター」の掲示を前年度に引き続き行った。							
成果 参加者の 声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業中止							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に実施した際に、参加団体数及び参加者数が例年より少なかったため、来年度以降は開催時期を十分検討する必要がある。</li> <li>・また、サークル紹介ポスターも有効に活用してもらい、年間を通してサークル活動の情報を掲示し、サークル活動を支援していく。</li> </ul>							



事業名 マ	公民館だより「豊春」発行		対象	豊春地区内		定員	-	
ねらい	公民館事業のPR、社会教育団体の活動のPRや行事の提供を行う。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場			教材 資料等	公民館だより				
実施までの 経過	前月中旬	記事作成開始 記事編集打合せ 読み合わせ 印刷 発行(広報かすかべと同日)	PR方法					
	前月下旬 前月末		受付方法					
月日(曜)	時間	内 容		方法	参加者		講師・助言者の職名	
回数	総時間数				男 計	女 計	合計	氏 名
4・5・6・ 7・8・9・ 10・12・2月 に各1回 (9回/年)		公民館事業、サークル 活動等の広報 豊春地区内約14,000部発行						
								
9回	0時間				0	0	0	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民により見やすい紙面になるように、レイアウトや文字大きさ等を考慮し作成した。</li> <li>・写真を多く掲載し、公民館事業の様子をよりイメージしやすくすることによって、公民館を利用したことがない地域住民にも公民館の活動を知ってもらう機会をつくった。</li> </ul>							
成果 参加者 声など	事業の参加者の多くは、公民館だよりで事業を知ったと回答しており、公民館の事業の情報を伝える手段として効果があった。							
課題と展望	公民館だよりの記事が分かりにくいとの意見があったことから、より見やすく、見た人に関心を持ってもらえるように工夫し、公民館の様々な情報を市民に届けていきたい。							